

平成14年12月6日
大使館・総領事館よりのお知らせ

タリバーン指導者のオマル師のものとみられる声明

1. 12月4日(現地時間)、エジプト発外電は、カタルを本拠とする衛星テレビ「アル・ジャジーラ」が同日放送したアフガニスタンのタリバーン指導者でウサマ・ビン・ラーディンとも関係の深いオマル師のものとみられる声明の内容について、要旨以下のとおり報じています。

(1)米国は、もしイラクを攻撃すれば、敵対行為、混乱、破壊に直面するであろう。

(2)米国はテロをイラクに対する戦争の開始を正当化するために用いている。米国は、更なる敵対行為、混乱、破壊以外のものを得ることはない。

2. 米国権益等に対するテロ攻撃の危険やウサマ・ビン・ラーディン率いるアル・カーイダ幹部による声明等については、これまでも度々渡航情報により注意喚起してきているところです。現在のところテロ攻撃に関する具体的な情報はありますが、上記1.の声明等にも十分留意し、テロ事件や不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の関連情報の入手に努めるとともに、テロの標的となる可能性がある施設等の危険な場所には出来る限り近づかない等安全確保に十分注意してください。

また、テロ事件や不測の事態が発生した場合の対応策を再点検し、状況に応じて適切な安全対策がとれるよう心掛けて下さい。

(問い合わせ先)

○外務省領事移住部邦人特別対策室

電話:(代表)+81(0)3-3580-3311(内線)3680

○外務省海外安全相談センター(国別安全情報等)

電話:(代表)+81(0)3-3580-3311(内線)2903

○外務省海外安全ホームページ : <http://www.mofa.go.jp/pubanzen>

○在英日本国大使館ホームページ : <http://www.uk.emb-japan.go.jp>